

新改造内閣はガバナンスを強化して 重要政策の実行を

副代表幹事
諮問委員会 委員長
馬田 一
JFEホールディングス
相談役



8月3日の内閣改造までの2カ月、それまでは長期にわたり安定的に高いレベルを維持した安倍内閣の支持率が急速に下がった。原因は政府のガバナンス欠如による国民からの信頼低下だ。

第2次安倍内閣が発足した翌年の2013年、「日本再興戦略」が発表された。その中で、コーポレートガバナンスの強化による企業の持続的価値の向上が、重要な政策として提言された。その後、スチュワードシップ・コード、コーポレートガバナンス・コードが制定され、企業はステークホルダーとの対話で、透明性、情報開示、公平性、説明責任を高めてきた。

株主や機関投資家に対しては、これまでもSR活動やIR活動を通じて、長期戦略を議論し、企業価値向上を図る努力を行ってきた。社内体制においても、複数の社外取締役の導入やコンプライアンスの強化も進み、制度的には前進した。しかし、企業会計に関する不祥事は今でも発生している。制度やルールが整備されて、形式的にはこれらが整ったとしても、経営者の倫理観が欠如すれば不祥事は起こるのだ。

このように、まだ十分とは言えないものの、企業のガバ

ナンスはこの数年、一定の進歩が見られ、成果も出ている。しかし一方で、政治のガバナンスは政権の長期化に伴って悪化しつつあるように思われる。政治の最大のステークホルダーである国民との対話で、透明性、情報開示、公平性、説明責任は十分に果たされているだろうか。国家の基本計画の目標達成について十分な評価、分析がなされているだろうか。いずれも否と言わざるを得ない。

例を挙げれば、2013年に策定された「日本再興戦略」と「経済財政運営と改革の基本方針」で掲げた、財政健全化に向けての「2020年度までのプライマリーバランスの黒字化」「税と社会保障の一体改革」「名目GDP成長率3%、実質GDP成長率2%達成」「ビジネス環境ランキングで3位以内に入る」などの重要政策は多いが、たとえこれらの達成が危ぶまれるとしても、そのプロセスに対しての正しい評価と正確な分析がなければ、次の政策につながらないと思慮される。

8月3日の内閣改造を終え、安倍首相は現在の支持率低下を反省し、国民の信頼を回復するために、実績を積み重ねる必要性を述べた。政治のガバナンスを見直し、倫理観を持って重要政策を実行することが新内閣の責務であろう。

No.801
August, September 2017
経済同友 8・9

C O N T E N T S

特集

2017年度(第32回)
経済同友会 夏季セミナー
持続可能な社会の構築:
最適化と対話の推進 02

Close-up 提言

先進技術による経営革新委員会【提言】【報告書】 21
小柴 満信 委員長/程 近智 委員長
経営者はデジタル革命に備えて
具体的な行動を

Seminar

第1288回 会員セミナー 24
世界の成長センター、
新興国を取り巻く地殻変動
~外部環境の変化に対応できるか~
西瀛 徹 氏 第一生命経済研究所 経済調査部 主席エコノミスト

Doyukai Report

第1回 会員懇談会 25
人口問題と社会保障
~データヘルス改革による
健康、医療、介護のパラダイムシフト~
塩崎 恭久 氏 厚生労働大臣 衆議院議員

Column

巻頭言 馬田 一 01
「新改造内閣はガバナンスを強化して
重要政策の実行を」
リレートーク 鳥海 智絵 20
「グローバル化?」
メールボックス 古澤 芽衣 27
「北欧デンマークに赴任して半年」
私の思い出写真館 前田 忠昭 30
「ガスマレーシア社創立25周年」
新入会員紹介 28
米州委員会がワシントンD.Cと
インディアナ州にミッションを派遣 29

今月の表紙: シリーズ世界の花
【キンモクセイ】

中国原産の常緑性樹木。秋に芳香の強いオレンジ色の小さな花をたくさん咲かせます。中国では一般に桂花と呼ばれ、花は桂花陳酒の材料になります。